

勉強会



質問や提案を作成するための勉強会を2回行いました。最初は緊張しましたが、希望する分野ごとのグループに分かれ、現在の状況や10年後の広島県について議論するうちに、すっかりうちとけて、色々な意見が出てきました。県職員や大学生サポーターからアドバイスをもらって、質問をまとめていきました。本番に向けて、リハーサルもしっかり行いました。

日時 7月30日(土)・9月10日(土)
場所 県立総合体育館・県議会議事堂

任命式

子供議員の代表者が、中本議長から任命書を、中原副議長から子供議員バッジを交付されました。



日時 10月23日(日)
場所 県議会議場

議員交流会

6つのグループに分かれて、ふだんあまり関わることのない県議会議員に、質問や意見発表をうまく行うコツなど、色々な質問をしました。



日時 10月23日(日)
場所 県議会委員会室

参加した子供議員の感想



自分が伝えたいことを伝えることで、達成感が味わえた。

ふだん見ることのない議場で、実際に発表することは緊張したが、とてもいい経験になった。

議員のみなさんの貴重なお話を聞くことができ、政治に興味を持つことができた。

色々な学校の人と意見交換ができて、とても勉強になった。

子供議会を通して、みんなで案を出し合う、協力する、戸惑わずに発表するなどの力がついた。

制作・発行 広島県 広島県議会

子供議会の模様は YouTubeで配信しています。



お問い合わせ

〒730-8511
広島市中区基町10番52号
広島県環境県民局県民活動課
TEL 082-513-2740
E-mail kankatsudo@pref.hiroshima.lg.jp

広島県議会事務局議事課
TEL 082-513-4731
E-mail gikaigiji@pref.hiroshima.lg.jp



広島県子供議会だより

令和4年度



広島県子供議会を開催しました。

これからの未来をつくる子供たちが、社会に関心をもち、よりよい社会をつくるために何ができるかを考えるきっかけとするため、県と県議会が主催して「広島県子供議会」を開催しました。

県内の小学校5年生から中学校3年生までの35人の子供議員が、事前の勉強会で県や県議会の役割などを学んだ後、「10年後の広島県がこうだったらいいのになあ」というテーマでアイデアを出し合ってグループで話し合いをしました。新型コロナウイルスの感染防止対策のため、お互いに距離を保ちながら、アクリル板越しの勉強会となり、話し合いが思うように進まないこともありましたが、グループで活発に粘り強く議論をしながら、質問や提案にまとめました。

当日は、県議会議員が実際に見守る中、湯崎知事や平川教育長などに対して、みんな大きな声で堂々と質問し、答弁を受けました。

閉会時には、湯崎知事から、「広島県の未来のために課題を分析し、一生懸命考えられた提案はどれも立派で、堂々と発言される姿は非常にたのしく感じました。みなさんの意見や提案をしっかりと受けとめて

今後の施策の参考にさせていただきたいと思います。」と、今後の子供議員に期待する言葉がかけられました。また、中本議長から、「みなさんの立派な提案を聞きながら、県議会議員としてみなさんに負けないよう、広島県の明るい未来のために全力で頑張っていこうと改めて思いました。今後も様々なことに興味を持ち、チャレンジしてください。」と、激励の言葉がかけられました。

終了後、子供議員からは、「自分が伝えたいことを伝えることで、達成感が味わえた。」「ふだん見ることのない議場で、実際に発表することは緊張したが、とてもいい経験になった。」「議員のみなさんの貴重なお話を聞くことができ、政治に興味を持つことができた。」「色々な学校の人と意見交換ができて、とても勉強になった。」「子供議会を通して、みんなで案を出し合う、協力する、戸惑わずに発表するなどの力がついた。」などの声があり、みんな達成感にあふれた表情をしていました。

令和4年10月23日



平和・観光グループ

- 福山市立千田小学校 小林 美陽 議員
- 広島市立千田小学校 松下 ひかり 議員
- 廿日市市立大野東小学校 栗栖 秀彰 議員
- 海田町立海田小学校 多田 陽葵 議員
- 広島市立瀬野川中学校 谷村 紅葉 議員
- 福山市立城北中学校 新田 咲 議員

質問 世界中の人たちが幸せに暮らせるように、二度と戦争をしないように、日本中や世界中の人たち、中でも自分たちと同じような若い人たちに、広島が経験した戦争や原爆の悲惨さを伝えることに取り組んではどうか。

貧困などで困っている世界の人や地域を支援(しえん)するなど、平和を実現するための取組を行っています。

回答 ウェブサイト上で、核兵器(かくいき)廃絶などについて学ぶオンライン平和講座の開設や、被爆者証言などの情報発信を行っているほか、高校生がオンラインの討議や交流等を通じて平和のメッセージを発信する「ひろしまジュニア国際フォーラム」や、専門知識や実践(じっせん)的な英語力を学ぶ「グローバル未来塾in広島」等を開催している。

ユニタール広島事務所や JICA 中国と協力して、貧困問題を抱えている紛争経歴国などで、国づくりのために働いている国や地方の公務員などに、広島での復興について研修を行っている。

今後とも広島での復興の経験を世界に伝え、紛争経歴国の人々が希望を持って、豊かで平和な国づくりに取り組んでいけるよう協力していきたいと考えている。

戦争の悲惨(ひさん)さを伝え、平和を実現する取組

質問 観光客にぎわう広島県になるために、県ホームページの観光サイトをもっと目立つようにしたり、VRを使って、観光体験などができるようにしてはどうか。

観光地を回る循環(じゅはん)バスや電車などの乗り物は、ワクワク感が少ない。トクツクを活用するなど、移動時間を楽しむ手段が増えるよう取り組んではどうか。

回答 ウェブサイト上で平和記念公園を見学できるデジタル3Dコンテンツや、カキの水揚げを体験できるVR動画の作成、英語字幕付きの神楽公演のオンライン配信など、広島県の魅力(みりく)を体験できる取組を行っている。観光サイトへの誘導(ゆうどう)については、県公式ホームページのトップページにインパクトのある写真を用いたバナーの配置、県公式SNSの活用を通じて強化を図っていく。

観光列車や観光型高速列車(リザー)など、県内にもワクワク感のある移動手段が増えてきている。今後とも市町や観光団体などとも連携(れんけい)しながら、移動時間を楽しめる工夫を行っていく。

観光がすごいことになる広島県



くらし・防災グループ

- 福山市立蔵王小学校 藤本 叶乃 議員
- 東広島市立西条小学校 長野 梁生 議員
- 世羅町立世羅小学校 亀迫 紗綾 議員
- 広島県立広島教習学園中学校 石原 由莉奈 議員
- 広島市立広島中等教育学校 広升 友壽 議員
- 福山市立湯田小学校 笠原 舜 議員

質問 高齢者や障害者の方など避難(ひなん)が困難(くわん)な方が安全を守るため、市や町と一緒に、安全・安心な避難方法の確保や、様々な方々に配慮(はいりょ)した避難所の設置を推進してはどうか。

実際に避難するときに、安全かつ確実に避難できるよう、地域の避難訓練を充実してはどうか。

回答 一人暮らしの高齢者や障害者の方など、避難するときに助けが必要な方を支援する仕組みづくりに向けて、地域の人たちや福祉サービスの支援スタッフ等が話し合い、いざというときにみんなが協力して避難できるように、個別の避難計画を作成する取組を市や町とともに進めている。また、市や町では、特に配慮が必要な方のために、介護施設などを避難所として利用できるように協力してもらった取組が進められている。

いざというときに安全に避難できるように、災害リスクの高い箇所などを地図に書き込んだり、避難経路を歩いて、危険な場所や所要時間を把握(はあく)するなど、実際の災害を想定した訓練も行っている。

災害への備え

質問 誰もが乗り降りしやすいノンステップバスや、ワンステップバスなどのバリアフリーのバスを増やす取組を進めてはどうか。特に高齢者の方が多い中山間地域などのバスは、必要性が高いにもかかわらず、バリアフリー化が進んでいないのではないか。

回答 ノンステップバスの導入については、国、県、市町、バス協会において、車両購入(こちう)補助など、バス事業者のバリアフリー化の取組を支援している。一方で、中山間地域などでは小型の車両が使われていて、車両構造上ノンステップ化が難しいなどの理由により導入が進んでいないが、こうした小型の車両についても、手すりや補助ステップの設置等のバリアフリー化が図られている。

誰もが安心して快適に利用できる交通環境の実現に向けて、中山間地域等にも導入できるノンステップバスの開発支援や車両購入支援の拡充(くわくちゅう)を国に働きかけるなど、引き続き関係者と連携しながら、公共交通のバリアフリー化を進めていく。

人にやさしい交通機関の実現



自然・環境グループ

- 呉市立片山中学校 南面 亜海 議員
- 福山市立直山小学校 三好 希歩 議員
- 福山市立直山小学校 大乃 乃愛 議員
- 海田町立海田小学校 上賀 春翔 議員
- 東広島市立三ツ城小学校 内田 陽貴 議員
- 呉市立誓国屋小学校 川口 結子 議員

質問 環境問題の現状やその解決策などを知ることができるウェブサイトを作成してはどうか。

買ひ物の前に買う物を決めたり、適量を買って食べることなどについて、情報発信してはどうか。

回答 「環境の日」ひろしま大会の実施やSDGsに関するカードゲームを使った環境学習を行っている。これらの様子は環境に関する情報などとともに、県のウェブサイト「ecoひろしま」で紹介している。

食品ロス削減のため、県民のみなさまが日々の生活の中で行動できる工夫をツイッターやフェイスブックなどでわかりやすく発信するとともに、先進的で有効な事例などの情報を提供していく。

環境問題への理解と食品ロスの削減(さくげん)

質問 無料で利用できる電気自動車の充電(じゅうでん)スタンドを増やして、電気自動車に乗(の)り換(か)えてもらえるようにしてはどうか。

回答 充電スタンドの設置には費用がかかり、電気料金負担もあるため、無料で利用できる充電スタンドを増やすことは簡単ではないが、ショッピングセンターなどの便利な場所に充電スタンドが増え、電気自動車を利用しやすくなるよう、国や関係するみなさんと協力して取り組んでいく。

電気自動車の普及(ふくあ)う

質問 年をとった木を伐採(はっさい)して植林し、伐採した木はチップにして、ガソリン用やバイオマス燃料として活用してはどうか。

回答 使い道が無い(は)切れなども有効利用することで、森の資源のサイクルがもっと大きくなっていくため、家庭や発電用で木材をもらって使っていたような木を使うことが環境に貢献(こけん)することなどを積極的にPRしていく。

木材の再利用

質問 鳥獣を捕獲(はく)せずに農作物の被害をなくすための取組を強化してはどうか。

回答 農作物を鳥獣の被害から守るには、農作物を守る体制を作る、鳥獣が近づきにくい環境を維持する、柵(さく)などで守る、捕獲するという順で対策することが重要である。このような取組が広まり、鳥獣の捕獲に頼らなくてもすむよう、市町とも連携して取り組んでいく。

鳥獣(ちようじゆ)による農作物被害の防止



交通・防犯グループ

- 安田女子中学校 神田 美羽 議員
- 広島市立中筋小学校 川本 滯 議員
- 広島市立五日市観音中学校 原田 歩実 議員
- 広島市立己斐上小学校 中井 凜 議員
- 廿日市市立大野中学校 沢谷 優理 議員

質問 子供たちが安全・安心に通学できるための取組として、標識を設置して、登校時間帯の通学路への自動車の進入を制限してはどうか。

通学路にカーブなど移動式の障害物を設置して、登校時間帯のみ一時的に歩行者専用の空間を作ってはどうか。

回答 登校時間帯の通学路における交通規制の実施に当たっては、通学時間帯に自動車の通行が多い、道路が狭いなど危険性がある等の諸条件を考慮(こうりょ)し、通学する児童数などを調査して行っている。一方で、自動車(こちう)が回り道することによって周辺道路で渋滞(じゅうたい)が発生するなどのデメリットもある。交通規制を行う際は、メリットとデメリットを比較、検討し、慎重に判断する必要がある。

警察と道路管理者が連携して、最高速度30kmの交通規制と、ポール欄などの物理的デバイスを適切(てき)に組み合わせることで、歩行者専用空間の確保や自動車の速度を抑制(さくへい)し、交通安全の向上を図ろうとする区域である「ゾーン30プラス」の整備に向けた検討を進めている。地元の要望や効果検証の結果等をふまえながら、児童が巻き込まれる交通事故防止を図っていく。

安全・安心な通学の実現

質問 犯罪(はんざい)が起りにくくなるよう、住宅地の暗い場所に防犯灯を設置したり、交番(かへん)の数を増やしてはどうか。明るい場所が多ければ人目が気になって犯罪(はんざい)が起きにくくなると思う、交番(かへん)が近くにあれば犯罪(はんざい)の抑止(よけ)効果(こうか)が期待できる。

回答 防犯灯の設置は、犯罪(はんざい)をくわだてる者に、誰かに見られるかもしれないと意識させて犯行を思いとどまらせるだけでなく、不審(ふしん)者を発見しやすく、夜間パトロールを効果的に行うことができるなど、犯罪(はんざい)を起りにくくさせる効果が期待できると考えている。

県警察としては、防犯灯や防犯カメラなどの設置が促進(そくしん)されるよう関係機関と連携し、県民のみなさまが安心して暮らせる生活環境の整備を推進していく。

また、交番(かへん)は犯罪抑止のための大事な施設であり、地域住民のみなさまの利便性を総合的に考えて整備していく。

犯罪防止に向けた環境づくり



学校・教育グループ

- 広島市立井口中学校 田原 慶一 議員
- 廿日市市立阿品台東小学校 山下 日奈帆 議員
- 府中市立国府小学校 原田 芽依 議員
- 広島市立庚午中学校 宗田 夏月揮 議員
- ノートルダム清心中学校 廣田 彩葉 議員
- 広島市立広島中等教育学校 三木 咲愛 議員

質問 私立高等学校の授業料が高い。家(か)に遠く(とほく)に通学費(つうがくばい)がかかるという理由で、行きたかった学校をあきらめた人がいると聞いた。

私立高等学校の授業料を安くするための取組をしてはどうか。授業料が安くなることで、私たちは行きたいと思う学校にチャレンジできるようになる。

回答 私立高等学校を目指す生徒が、経済的な理由によって進学をあきらめないですむよう、国では授業料を支援する制度をつくらせていて、県では、国の支援に加え、収入に応じ、授業料などを追加で支援する制度を実施(じし)している。こうした支援を受けている生徒は、私立高校生の約7割、1万8千人になっている。

引き続き、国と一緒に授業料の支援制度が充実(じゅうじつ)するよう取り組むとともに、県内中学校へのチラシの配布や、私学フェスタでのPRなど、生徒や保護者のみなさまに対して、支援制度についてお知らせしていく。

私立高等学校の学費

質問 高等学校における個人用コンピュータの購入助成金の給付対象者を幅広くしてはどうか。

授業の理解を深めるためにインターネット上に授業を録画して公開したり、授業でわからなかったところを教え合うことのできる学習サイトを開設してはどうか。

回答 個人用コンピュータの購入費用を支援するため、給付事業として、非課税世帯を対象とした奨学(しょうがく)金を設けている。また、貸付事業として、コンピュータの購入費用を含む入学準備に充てるための費用を貸し付ける入学準備金を設けており、令和5年度入学者からは収入基準を緩和(かんわ)し、8割を超える世帯が申請できるように改善(かいぜん)した。

学習サイトの開設は、学びの環境を深める機会を増やす点で有効(ゆうこう)であり、県教育委員会では、これまで全ての県立学校の児童生徒がクラウドサービスを使用できるようにクラウドを付与(ふくよ)し、資料の共有や意見の集約などに活用している。また、公立高等学校5校では、他県の高専学校と共通の課題についてオンラインで協議するなど、学校の枠(かど)を超えた活動も積極的にやっている。

ICT機器の利用と学習サイトの開設



まちづくりグループ

- 広島市立中筋小学校 牛尾 亮太 議員
- 江田島市立江田島小学校 田口 はるか 議員
- 広島県立広島教習学園中学校 川又 匠馬 議員
- 広島市立神崎小学校 國弘 夏末 議員
- 広島市立大塚小学校 谷平 夏菜 議員
- AICJ中学校 増田 悠花 議員

質問 魅力ある広島県を未来につなげていくために、広島県や県内の地域のことを考え、行動している様々な人や団体が、情報を共有し、協力し合うことができる「つながりの場」となるプラットフォームをつくってはどうか。

ネットワーク上で交流し合いながら、ネットワーク上で交流し合いながら、実際に活動につなぐことができる。活気ある広島県が実現できるのではないか。

回答 第II期中山間地域振興計画に基づき、「人づくり」、「仕事づくり」、「生活環境づくり」を施策の柱(はしら)に掲(か)げ取組を進めている。これらを効果的に進めるには、県民一人一人が地域をつなぐ主体として、一歩前に踏み出してもらうことが大きな推進力となる。提案のあった「つながりの場」づくりは、こうした考え方と合致(ごうし)すると認識している。

県では、中山間地域における地域づくり人材のプラットフォームとして、「ひろしま里山・チーム500」を立ち上げ、登録者同士の交流の促進や地域を巻き込んだ活動の組み合わせなど、地域づくりの実践者が、今後、様々な主体ともつながり、さらに協力し合える環境を整えれば、将来への「夢や希望」につながる新しいチャレンジが次々と起きてくるものと考えている。

中山間地域の振興

質問 「広島県に住みたい」と思えるきっかけとなるように、広島県の魅力を伝えるためのイベントを各地域で実施してはどうか。

県外の若者を対象にした情報発信を強化してはどうか。例えば、広島県のおいしい食べ物や地域での暮らしなどを、芸能人を使用したプロモーションビデオを作成して、テレビCMで放映してはどうか。

回答 広島県の特産品や魅力についての「情報発信」移住希望者と地域との「マッチング」、移住後のサポートまで含めた「受け皿づくり」の3つの取組を総合的に進めている。魅力を伝える取組として、実際に現地へ出てもらう理由の人などとの交流を通じて、移住先の検討を深める「移住ツアー」を実施している。また、広島ゆかりの芸能人をゲストに招いた移住フェアを東京で開催するほか、身近に都市と自然があることを生かした魅力あるライフスタイルなど、若者の興味をひくコンテンツを作成しホームページや各種SNSを活用した若者への情報発信の強化を図っている。

今後も、3つの取組をさらに充実させることで、多様な人材の移住を促進し、にぎわいのある広島県づくりに取り組んでいく。

若者に向けた広島県の魅力発信